

訪問看護ステーションちょこれーと& 児童発達支援事業所 ちょこらんど からの

夏のお便り

所長 多久島尚美

訪問看護ステーションちょこれーとの夏、今年も利用者さんお泊まり会を実施しました！
医療的ケアのある学齢児さん5名が、びわこ学園医療福祉センター草津の地域交流スペース“みなも”において、ご家族さんと離れて一泊していただきました。

訪問看護スタッフほぼ全員とボランティアさんが夕方から終結、びわこ学園障がい者支援センターの音楽療法士さんによる「夏の夕べ」を楽しんだあと、お風呂に入ったり、個々の遊びをしたり、翌日お昼までを楽しく過ごして帰っていただきました。

また、医療的ケア児のための多機能型事業所『ちょこらんど』は、2018年2月1日に開所し、人工呼吸器や気管切開、経管栄養、在宅酸素等のケアのある子どもたちが通っています。スタッフは児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、訪問看護と兼務の看護師2～3名・理学療法士1名、運転手さん1名で週5日実施しています。一日最大5名の定員で、就学前児童さんに送迎、遊び、入浴、お昼寝等々、健康状態に注意しながらお友達とのふれあいや楽しい経験をしていただいています。ようやく療育らしくなってきた初めての夏、放課後等デイの学齢児さんも来られ、暑さに負けず夏らしい行事ができました。



夏休みと言えば“地藏盆！？”ちょこ地藏を探そうゲーム、
すいか割り、綿菓子、かき氷などを楽しみました（^^）